

概要 (2018年3月31日現在)	
社名	因幡電機産業株式会社 INABA DENKI SANGYO CO.,LTD.
創業	1938 (昭和13) 年4月
設立	1949 (昭和24) 年5月
資本金	13,565百万円
従業員数	2,486名(連結)
主要な事業内容	電設・電子・情報機器販売及び 空調システム部材の製造・販売
事業所の概要	大阪本社:大阪市西区立売堀4丁目11番14号 東京本社:東京都港区港南4丁目1番8号 3工場、2物流センター、24営業所

役員 (2018年6月22日現在)	
代表取締役社長	守谷 承弘
専務取締役	枝村 浩平
専務取締役	家郷 晴行
常務取締役	喜多 肇一
取締役	奥田 善紀
取締役	岩倉 広幸
取締役	北野 明彦
取締役	田代 浩明
社外取締役	芝池 勉
社外取締役	中村 克宏
常勤監査役	石本 朝史
監査役	福田 聡一郎
社外監査役	井之上 明彦
社外監査役	伊藤 芳晃

連結子会社 (2018年3月31日現在)

会社名	主要な事業内容	資本金 (百万円)	当社の出資比率 (%)
アイティエフ(株)	電設資材事業	20	70
(株)パトライト	自社製品事業	300	100
SIAM ORIENT ELECTRIC CO.,LTD.	自社製品事業	133 (百万円)	100
PT.PATLITE INDONESIA	自社製品事業	1.5 (百万米ドル)	100

(注)出資比率は間接保有を含んでいます。

ホームページのご紹介



<https://www.inaba.co.jp>

当社はホームページにおきましても最新のトピックスをはじめ、業務報告や会社情報など様々な情報をご案内しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会開催時期	6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 (その他必要があるときはあらかじめ公告します。)
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-782-031
単元株式数	100株
公告方法	電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。 なお、やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 URL https://www.inaba.co.jp
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
証券コード	9934

株式に関するお手続き

- 株式に関する各種お手続き(住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受領方法の指定など)は、株主様が口座を開設されている証券会社にてお取扱しております。詳しくは、お取引証券会社にお問い合わせください。
- 株券電子化実施前に証券保管振替制度を利用されていなかった株主様の株式につきましては、「特別口座」で管理されております。「特別口座」に関する各種お手続き(証券会社の口座への振替、住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受領方法の指定など)は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行にてお取扱いたします。なお、「特別口座」に関する各種お手続きに必要な用紙のご請求は、ホームページで24時間受付しております。

◎ ホームページアドレス
<http://www.smbt.jp/personal/agency/index.html>

- 未払配当金のお受取りにつきましては、株主名簿管理人である三井住友信託銀行にてお取扱いたします。

株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

株式関係業務におけるマイナンバーの利用	マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先
法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。	証券口座にて株式を管理されている株主様 お取引の証券会社までお問い合わせください。
主な支払調書 ※配当金に関する支払調書 ※単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書	証券会社とのお取引がない株主様 下記のフリーダイヤルまでお問い合わせください。 三井住友信託銀行 証券代行部 ☎0120-782-031



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを採用しています。



投資家の皆様へ

INABA REPORT

第70期 報告書 2017年4月1日 - 2018年3月31日





代表取締役社長
守谷 承弘

平素は格別のご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。さて、当社グループ第70期の事業の概況をとりまとめましたので、ご報告申し上げます。

営業の概況

当社グループの係わる電設資材業界は、低金利や相続税対策による需要が一巡し、新設住宅着工戸数が減少した一方、工場や倉庫を中心とした設備投資の回復を受け、堅調に推移しました。

また自社製品の係わる空調業界は、買い替えの需要の高まりや猛暑による影響で、2018年3月期のルームエアコンの国内出荷台数が増加し、好調に推移しました。

このような情勢のなか、当社グループは中長期的な経営戦略に沿って、重点施策を着実に推進するとともに、積極的な営業活動を展開いたしました。

経営の基本方針

当社グループは、電設資材及び制御機器等の卸販売並びに空調部材等の製造販売を通じて「省エネルギー、省資源など地球環境に配慮し、豊かで快適な社会づくりに貢献する」ことを経営の基本理念として、創業以来、「人と人のつながり」という精神を活力の源泉としてまいりました。信頼される企業であり続けるため、コンプライアンス経営を第一義として、成長と変革によって企業価値を高め、「豊かで快適な社会」の実現に向け尽力してまいります。

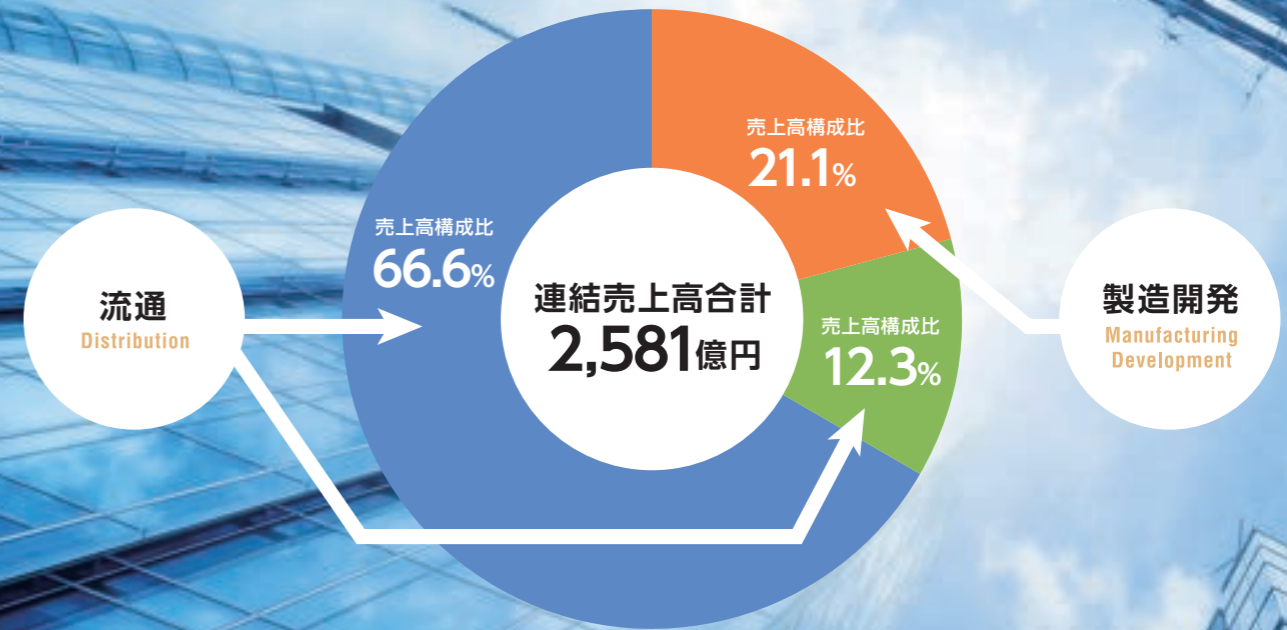
中長期的な会社の経営戦略及び対処すべき課題

当社グループを取り巻く経営環境は、景気の緩やかな回復基調が続くなか、2020年開催予定の東京オリンピックに向けた建設需要や人手不足に伴う省力化投資の拡大などを背景に今後も堅調に推移していくものと予想されます。

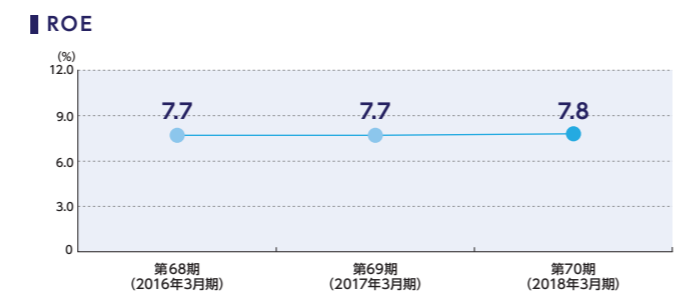
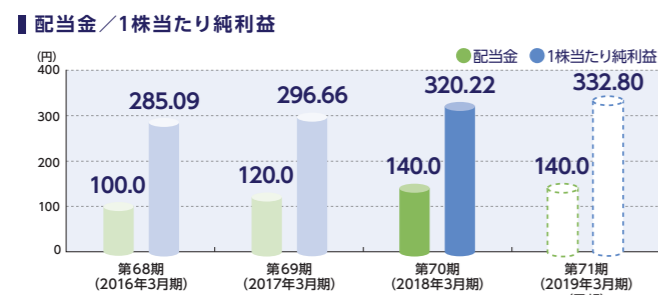
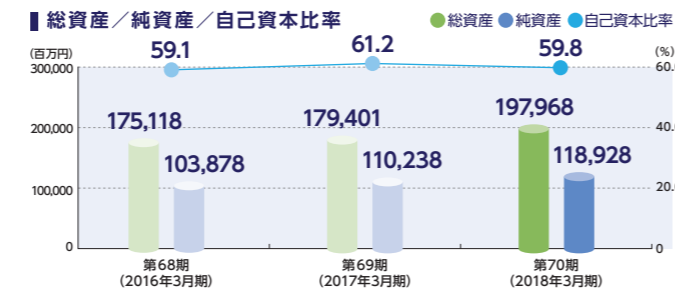
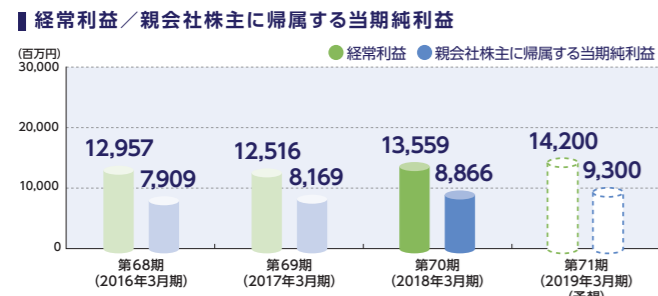
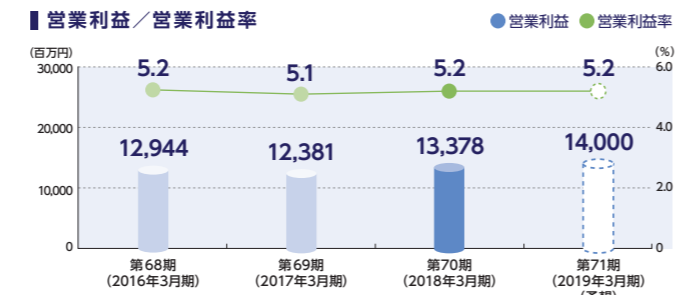
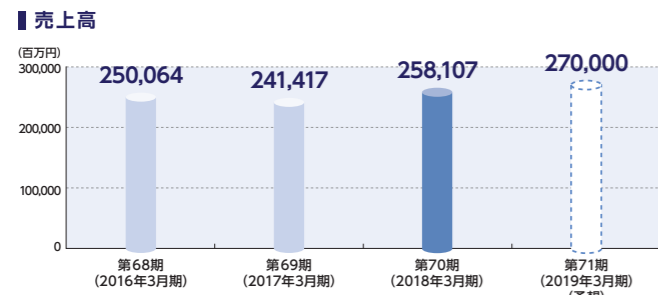
このような認識のもと、当社グループは中長期的な成長を目指し、①自社製品（PB商品を含む）の開発・拡充、②省エネ・省力化ソリューションの推進、③首都圏市場におけるシェア拡大、④グローバル展開の加速といった重点施策を着実に実行していくことによって企業価値の最大化を追求してまいります。

当面の課題として、グループ内の連携を強化し、シナジーの創出による収益力の向上に取り組んでまいります。

因幡電機産業グループは「電設資材事業」「産業機器事業」「自社製品事業」の3つから構成され、各セグメントにおいて競争力の強化と中長期的な成長を目指します。

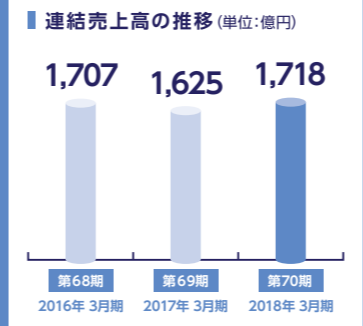


連結財務ハイライト Consolidated Financial Highlights



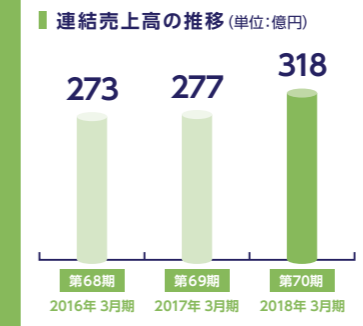
電設資材事業

銅価格の上昇に伴う販売単価の上昇により電線ケーブル類が増収となったほか、受配電設備やエアコンなどの販売が堅調に推移しました。



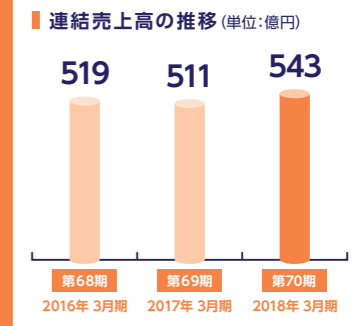
産業機器事業

スマートフォンをはじめとした半導体関連の設備投資需要が高まり、電子部品及び制御機器の販売が増加したことに加え、システム提案によるアセンブリ商品の販売が好調に推移しました。



自社製品事業

ルームエアコン出荷台数の増加を背景に、空調配管化粧カバー「スリムダクトシリーズ」の売上が伸長したほか、銅価格の上昇に伴う値上げなどにより、被覆銅管が増収となりました。加えて、(株)パトライトにおいて積層信号灯などの販売が好調に推移しました。



技術商社 商社機能だけでなくメーカー機能も兼ね備えた技術商社。それがINABAです。

電設資材事業

住宅、オフィスビル、公共施設をはじめとした様々な建築物に対し、照明器具、エアコン、配分電盤など電気設備からコンセント、配線器具といった電設資材まで幅広い商品を提供しています。安全で安心な暮らしを支え、豊かで快適な社会づくりに貢献します。また、グローバル社会の持続可能な発展に向けて、太陽光発電システム、LED照明など環境配慮型商品の販売を軸とした環境ビジネスを積極的に推進していきます。

- | | |
|---------------|----------------|
| ■ 電線ケーブル類 | ■ 配線器具 |
| ■ 住宅用・施設用照明器具 | ■ 家庭用・業務用エアコン |
| ■ 配分電盤 | ■ 発電機 |
| ■ トランス | ■ 太陽光発電システム など |

流通

産業機器事業

「ものづくり」の現場では、省エネルギー・省資源・省スペースによる生産性の向上、顧客から要求される厳しい品質管理、絶え間なく進化するテクノロジーの追求など多岐にわたる課題に直面しています。このような課題に対して、ロボット、センサ、画像処理機器と高度な技術力を組み合わせたシステム提案や、優れた開発力による新製品開発により、最適なソリューションを提供します。

- | | |
|----------|-----------------|
| ■ 制御機器 | ■ 装置受託製作 |
| ■ 電子機器 | ■ 制御盤受託製作 |
| ■ 表示機器 | ■ ロボット・システム受託製作 |
| ■ メカトロ機器 | ■ 新製品開発 など |

流通

自社製品事業

空調用配管化粧カバーや被覆銅管など空調部材を中心とした「INABA DENKO (因幡電工)」、デジタル時代の新築住宅には必需品ともいえるマルチメディア対応配線システム「Abaniact (アバニアクト)」といった自社ブランドを展開しています。このほか、各家庭・部屋ごとのエネルギー使用量(電気、ガス、水道)をモニタリングし、エコライフを支援する「エムグラファー」など新しい分野にも取り組んでいくことにより、顧客ニーズに対応した付加価値の高い自社製品の開発を加速していきます。

- | | |
|------------|--------------------|
| ■ 空調用被覆銅管 | ■ 表示灯・回転灯 |
| ■ 配管化粧カバー | ■ 情報盤 |
| ■ 防火区画貫通部材 | ■ エムグラファーライト |
| ■ 給排水部材 | ■ Wi-Fi AP UNIT など |

製造開発

表示灯・回転灯



電線ケーブル類



空調用被覆銅管



照明



HEMS



協働ロボット



業務用エアコン



スリムダクト



配分電盤



太陽光発電システム



防災セキュリティ



制御機器



家庭用エアコン



情報配線システム



TOPICS

チョコ停ウォッチャーminiの販売

生産現場などのトラブル原因究明に役立つ録画カメラ「チョコ停ウォッチャーmini」の販売を開始しました。同製品は、常時録画を行い、信号受付時にその前後動画を自動保存できます。今回販売開始した新製品は、従来品をより小型化し、これまで難しかった設備内部への設置を可能としました。さらに、ネットワーク機能によりPCのブラウザ上で簡単に使用できます。「トリガー録画」「コンパクト」「ネットワーク」の3つのキーワードでトラブル原因の早期発見に貢献し、現場の「カイゼン」を支援します。



当社におけるCSR活動の取り組みについて

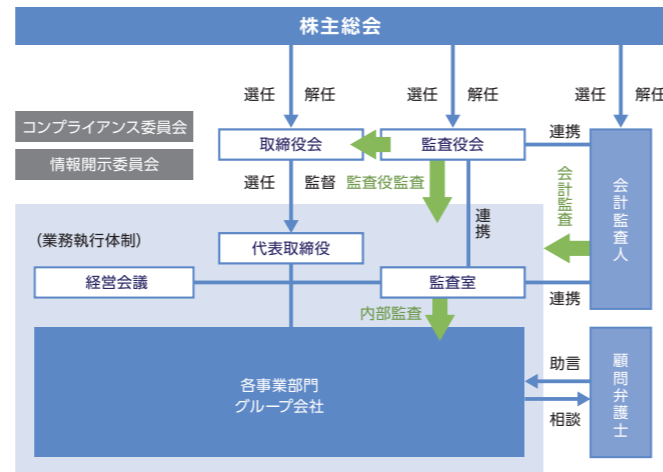
当社は「省エネルギー・省資源など地球環境に配慮し、豊かで快適な社会づくりに貢献する」ことを経営の基本理念としております。この理念のもと、すべてのステークホルダー（株主・投資家、従業員、取引先、地域社会等の利害関係者）にご満足いただける企業を目指し、企業価値の最大化を図っています。今後も「良き企業市民」として、人権の尊重、環境保全への配慮、地域社会との協調等の社会的責任を全うし、社会の発展に貢献します。



組織体制の確立とコンプライアンスの徹底

当社は監査役制度を採用し、取締役会および監査役会により業務執行の監督および監査を行っています。また、コンプライアンス委員会を設置し、リスクマネジメントと企業倫理・コンプライアンスを統合して推進し、倫理性・透明性の高い事業活動を実践できるよう内部監査を行い、遵法精神の浸透を図っています。さらに「コンプライアンスホットライン」を設置し、上司やコンプライアンス事務局による解決が困難な場合に、社外専門機関に告発する内部通報制度を設けております。

このような組織体制の充実に加え、社員一人ひとりが倫理的な行動をとるべきことを理解し実践することが、企業全体での倫理行動につながります。当社は公正取引・人権尊重・知的財産・情報管理・環境保全等について、当社社員としての心得と行動規範を冊子「企業倫理宣言/行動基準」にまとめ、全社員に配布し、研修等を通じてこれらの周知・徹底を図っております。



環境と調和する社会の実現に向けて

地球温暖化防止・省エネルギー社会の実現に向け、節電が家庭・オフィスに広く浸透するなか、当社はHEMSの導入を通じて、賢く快適な住まいづくりをサポートします。「EmグラフアワーLite」はスマホ、PCでご家庭のエネルギーをグラフ表示し、画面を見るだけで省エネ意識がアップします。また、当社オフィスでは、ISO14001準拠環境マネジメントシステムを活用し、電力使用量の削減・事務用品のグリーン購入など、環境保全の基本動作を徹底しています。

2025年万博誘致オフィシャルパートナー



1970年の大阪万博から半世紀、大阪は再び2025年の万博開催を目指して誘致活動を加速しています。関西全域はもちろん、会場候補地である大阪・夢洲の発展を見据えて当社は「2025日本万国博覧会誘致委員会」のオフィシャルパートナーとして協賛しています。政府や経済界・自治体、地元企業が一丸となり、誘致の機運を盛り上げます。

「第44回ジャンボびっくり見本市」に出展

インテックス大阪および東京ビッグサイトの東西2会場にて、電設資材・住宅設備・工具の専門メーカー約250社が一堂に集う展示即売会「第44回ジャンボびっくり見本市」に出展しました。会場には4日間約3.5万人が来場し、「労働生産性の向上」をテーマに「生産の省人化」と「施工の省人化」に焦点をあて、未来に役立つ製品や最新情報をお届けしました。当社ブースでは「生産の省人化」として出展したユニバーサルロボットに多くの来場者が興味を示していました。

ユニバーサルロボット

(4月6日・7日 インテックス大阪)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期 (2018年3月31日現在)	前期 (2017年3月31日現在)
流動資産	156,460	136,222
固定資産	41,507	43,178
有形固定資産	20,322	20,360
無形固定資産	2,578	3,800
投資その他の資産	18,606	19,017
資産合計	197,968	179,401
流動負債	71,177	61,885
固定負債	7,861	7,277
負債合計	79,039	69,162
純資産合計	118,928	110,238
負債・純資産合計	197,968	179,401

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期 (2017年4月1日から 2018年3月31日まで)	前期 (2016年4月1日から 2017年3月31日まで)
売上高	258,107	241,417
売上原価	216,789	203,040
売上総利益	41,317	38,377
販売費及び一般管理費	27,938	25,996
営業利益	13,378	12,381
経常利益	13,559	12,516
親会社株主に帰属する当期純利益	8,866	8,169

株式の概況 Stock Data

株式の状況(2018年3月31日現在)

発行可能株式総数
76,460,000株

発行済株式の総数
27,990,700株

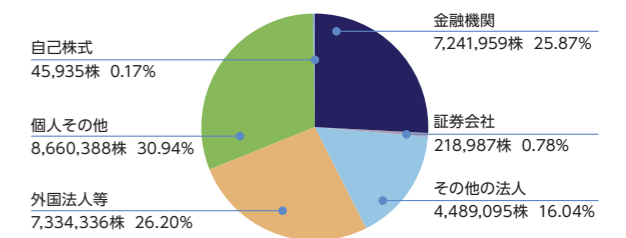
当事業年度末の株主数
6,749名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,836,300	6.57
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,361,900	4.87
株式会社りそな銀行	798,120	2.85
因幡電機従業員持株会	640,924	2.29
GOVERNMENT OF NORWAY	499,770	1.78
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	496,000	1.77
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	490,200	1.75
吉川 昌子	402,700	1.44
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	378,000	1.35
THE BANK OF NEW YORK, TREATY JASDEC ACCOUNT	377,400	1.35

(注)持株比率は自己株式(45,935株)を控除して計算しております。

所有者別状況



所有株数別状況

